opusdei.org

復活節:私は復活 し、今もなお、あな たとともにいる(1)

復活節は喜びの爆発であり、 復活徹夜祭から聖霊降臨力 日まで続きます。この五日 間、教会は主の死に対する 間、喜びで私たちを包みい ます。 もします。 私たちともにいます。

2025/04/19

「わたしの父に祝福された人たち よ、世の初めから、あなたがたのた めに備えられた国を継ぎなさい。アレルヤ」「III。復活節は、イエス・キリストが死に勝利することによって私たちのために手に入れた幸福をわうときです。「イエスは、、たちの罪のために死に渡され、わさたちが義とされるために復主にあって、私たちのです」「IZI」。それは、京喜びたって、私たちのとなるためでした。」。

過去の人物ではなく、今も生きる御 方であるからです | [4]。

「前もって神に選ばれた証人」「51が 経験した「復活したイエスとの出会 い」を、今日、私たちは典礼を通し て生きることができます。大教皇レ オー世が教えるように「私たちの贖 い主に関わるすべての出来事は、も はや目に見える形ではなく、今や秘 跡的な儀式となったのです | [6]。こ の事実を認識している東方教会のキ リスト者たちは、復活の主日の朝 に、「クリストス・アネステ(キリ ストは復活した) | 「アレソス・ア ネステ(まことに復活した) | とい う挨拶を交わす習慣を持っていま す。

ラテン典礼ではその喜びを、復活徹 夜祭では「復活賛歌」によって表 し、日中のミサでは「私は復活し、 今もなお、あなたとともにいる。あ なたの手は私の上に置かれる。あな たの知恵は驚くべきものしっという 入祭唱の美しい言葉に凝縮します。 これは主が復活の朝に経験された、 言葉にしがたい喜びを、私たちが唱 えるものです。私たちはキリストと 同時代を生きるものです。このこと を認識しながら主に近づくように と、聖ホセマリアは励まします。 「『イエス・キリストは、きのうも 今日も、また永遠に変わることのな い方です』。キリストが現に生きて おられることを、いくつかの面から 簡単に考えてみました。これこそ信 者の生活そのものの基礎をなす真理 であるからです」図。主は過去の思 い出ではなく、今日、私たちととも にいる方です。主は今、私たちとの 出会いを待っています。

[1] 復活の水曜日、入祭唱(マタイ 25・34)。

- [2] □-マ4·25。
- [3] ヨハネ15・9-11参照。
- [4] 聖ホセマリア『知識の香』102 番。
- [5] 使徒言行録10·41。
- <u>[6]</u> 大聖レオ、説教(Sermo 74, 2 [PL 54, 398])。
- [7] 「Resurrexi, et adhuc tecum sum, alleluia: posuisti super me manum tuam, alleluia: mirabilis facta est scientia tua, alleluia, alleluia」(復活の主日・日中のミサ、入祭唱[詩編138 (139), 18・5-6参照])。
- [8] 聖ホセマリア『知識の香』104番 (ヘブライ13·8参照)。

Félix María Arocena

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/fukkatsusetsu-tenreirekinen1/(2025/12/15)